

THE EQUIPMENT

このコーナー、再開第2回目の今月は、アメリカからユニークなオリジナル・ギターのレポートと、

大盛況のうちに来日公演を終えたホール&オーツのギター／ベース群を紹介したいと思う。

Bruce Vec Bar's Snake Guitar

今月の前半は、いつもと少し趣向を変えて、ユニークなオリジナル・ギターを紹介してみることにしよう。

そこで登場するのが、Photo 1にある、とんでもなく派手なギター。アレンビックに似てるなって思う人もいるかもしれないけど、その通り、これは以前アレンビックで働いていたブルース・ベック・ヴァーという人が作ったオリジナル・ギターなの

だ。だから、電気系統は、アレンビックのPF-6アクティブ回路とまったく同じものが使われている。

彼のギター製作の姿勢は、まず、17世紀頃の芸術的な楽器製作の技術を、そのまま現在のエレクトリック・ギターに持ち込んでしまおうというものらしい。何と言っても、ぜいたくなインレイが目を引き、ボディの側面には2匹の蛇が彫られている

という凄さなのだ。そのうえ、バックも (Photo 2) こんなに派手。

ボディには、ハワイアン・コア、パースアイ・メイプル、ローズウッド、エボニーが使われている他、蛇の頭では (Photo 3)、牙は象牙、目はトルコ石という豪華さだ。

このギターの名前はもちろん“スネーク・ギター”なんても、これと同じギターが、ニューヨークのメトロポリタン美術館にも展示されているということだが、ジョン・ポール・ジョーンズなんか、彼の作ったベ

ースを愛用しているらしい。来年の初めには“ハンドメイド・エレクトリック・ギタース”という本を出す予定もあるという彼に興味のある人は、P.O.Box 64 COTATI, CA, U.S. A. 94928 Bruce Bec Var まで連絡をとってほしい。

なお、このレポートも、“カリフォルニア・ミュージック・シーン”に写真を送ってくれているトム・ファリントン氏のもの。このコーナーでは、今後とも、ユニークなオリジナル・ギターを紹介していくつもりだ。

Photo 1



Photo 2



Photo 3



Photo 1~3 by Tom Farrington